

能登復興応援イベント「漆の絆」 in 首里城

2025年7月12日(土)、13日(日)

この度、令和6年能登半島地震および奥能登豪雨で大きな被害を受けた能登・輪島と、令和元年の火災により焼失し、再建が進む沖縄・首里城との間で、漆文化を通じた交流と双方の地域の復興を願うイベント「漆の絆」を開催いたしました。

共に復興を目指す両地域の想いが交差し、漆芸の魅力と職人の技、そして市民の温かな支援がひとつになった2日間となりました。



イベント開催概要

○能登復興応援イベント「漆の絆」

日時：令和7年7月12日(土)・13日(日)
10:00～17:00

場所：首里城公園首里杜館 1F及びB1F

主催：沖縄県

後援：内閣府沖縄総合事務局、石川県
輪島漆器商工業協同組合
浦添市美術館、(一財)沖縄美ら島財団

催事：復興ミニコンサート
漆器の展示販売会
わくわく沈金体験
漆芸の魅力PR展示
(石川×沖縄の高校生トークセッション)
(輪島職人による輪島トークタイム)
(能登への応援パネル)

連携イベント：地域イベント「酔い宵い」

「輪島×首里城」による双方の復興機運醸成事業

能登復興応援イベント

漆の絆

2025.7/12(土)・13(日)

時間 10:00-17:00 入場 無料

会場 すいむいかん 首里杜館(首里城公園内)

響け復興三線
能登と沖縄の職人がともに製作した
世界に1つだけの復興三線をお披露目します

能登半島・輪島と首里城。
双方の復興を願い、想いをつなぐ
応援イベントを開催いたします。
「漆芸」の魅力を感じていただける2日間。
ともに手を取り、復興へのエールを
響かせましょう。

能登と首里城。双方の復興を願い、想いをつなぐ応援イベントを開催 /

EVENT 1 復興ミニコンサート
能登と沖縄の職人がともに製作した「復興三線」や輪島高校による和太鼓の演奏をお楽しみいただけます。
※輪島高校の出演は、12日(土)のみとなります。

EVENT 2 漆器展示販売会
輪島塗と琉球漆器の器や小物を間近で見えて購入できる販売会を開催します。

EVENT 3 輪島職人から学ぶ「わくわく!沈金体験」
輪島塗と琉球漆器の職人からレクチャーを受けながら漆芸の「加飾」技術を体験できます。

EVENT 4 漆芸の魅力PR展示
パネル展や作品展示を実施。輪島塗と琉球漆器の歴史や特徴が学べます。

EVENT 5 連携イベント
+ 首里の人気イベント
「酔い宵い」
能登の酒と首里の酒を交えて能登半島と首里城、互いの復興を応援しよう!
時間 17:00～21:30

沖縄県 主催：沖縄県
後援：内閣府沖縄総合事務局、石川県、輪島漆器商工業協同組合、浦添市美術館、一般財団法人 沖縄美ら島財団

OKINAWA

開会式

- 開会式では、沖縄県の池田竹州副知事、石川県の徳田博副知事、輪島漆器商工業協同組合の坂口彰緒理事、沖縄県三線製作事業協同組合の仲嶺幹事務局長が登壇し「復興三線」の除幕式を執り行いました。
- また、沖縄県立芸術大学の学生により「復興三線」を使用して琉球舞踊「かぎやで風」が演奏され、イベントが開幕しました。



復興ミニコンサート

- 「復興三線」を使用して沖縄県立芸術大学の学生による復興ミニコンサートを両日3回ずつ開催しました。
- 12日土曜日には輪島高校和太鼓部が和太鼓演奏を披露しました。
- 来場者の方々は、若いエネルギー溢れる演奏と地域文化の共演に大きな拍手を贈られていました。
(来場者数：のべ約360名)



漆器の展示販売会

- 輪島塗や琉球漆器が一堂に並び、訪れた方々は実際に手に取り、その質感や技法に触れていました。
- お箸や椀などの手に取りやすい商品も販売され、多くの方が購入されました。

漆芸の魅力PR展示

- 輪島塗・琉球漆器それぞれの歴史や技術を紹介するパネル展示と実物展示により、漆芸への理解を深めていただく機会となりました。



わくわく沈金体験

- 輪島・琉球の職人が指導する沈金体験教室を2日間で計6回開催しました。
- 教室に参加されている小さなお子様とその保護者の笑顔、生き生きとレクチャーする職人さんの様子が印象的でした。
- 会場は連日ほぼ満席で、総勢112組が参加するという盛況ぶりでした。



石川×沖縄の高校生トークセッション

- 輪島高校和太鼓部と興南高校アクト部により、双方の地域の文化や活動の報告と意見交換を行いました。
- 若い世代による前向きな言葉に、多くの来場者が心を打たれました。
- 興南高校アクト部には土曜日に能登復興応援募金の募金活動及び輪島高校への首里城公園内の見学ツアーをボランティアで実施いただきました。



輪島職人によるわじまトークタイム

- 輪島漆器商工業協同組合の坂口理事に、輪島市の震災直後の様子や現在の課題についてご説明いただき、そのお話に30名以上の来場者が真剣に耳を傾けました。



能登への応援パネル

- 来場者から340件を超える応援メッセージが寄せられ、それらを沖縄では福を呼び、台風にも負けないがっしりとした根を張る「ガジュマルの木」に見立てて一枚のパネル作品として制作しました。
- 小さな子どもたちが一生懸命にメッセージを書く姿が印象的でした。



能登復興応援募金

イベント開催期間を挟み前後約1カ月間において、首里城公園内及び浦添市美術館内に募金箱を設置し、12日土曜日には興南高校アクト部によりイベント会場にて募金活動を行いました。

この結果、本事業で総額105,058円(8/29時点)が集まりました。

全て「令和6年能登半島地震に係る災害義援金」に送金させていただきます。(令和7年11月下旬予定)



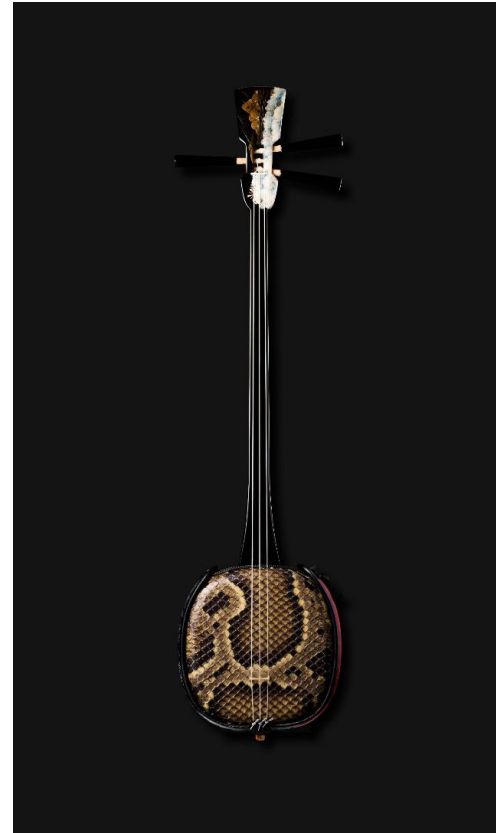
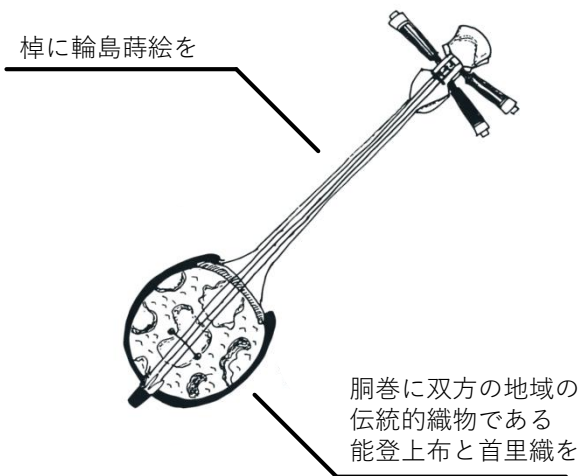
連携イベント「酔い宵い」

- 夕方からは、連携イベントとして地域の飲食店等が主催する「酔い宵い」が開催されました。
- 琉球王府から酒造りが許された首里城周辺の泡盛酒造所のお酒に加え、能登復興応援企画として能登のお酒や料理も振舞われました。
- 輪島漆器商工業協同組合の職人の皆さまが飛び入りで輪島太鼓を披露し、会場は大いに盛り上がり、まさに文化の融合と交流の場となりました。



復興三線

令和の復元の首里城正殿御用材を活用し、
能登と沖縄の職人が協働で世界にひとつ
だけの三線を制作しました。



能登上布



首里織

おわりに

本イベントを通じ、能登と沖縄の絆が深まり、多くの方々が漆芸の魅力と復興への願いを共有する貴重な場となりました。ご協力いただいた全ての皆さまに、心より感謝申し上げます。

